

NPO法人化

リカバリーサポート・ネットワーク

全日本遊連の支援を受けた第三機関として設立され、2006年4月に活動を始めたリカバリーサポート・ネットワーク（RSN）は、2006年4月に活動を始めたリカバリーサポート・ネットワーク（RSN）は、

電話相談に加え、各地でのギャンブリング問題の回復サポートの養成講座にも取り組んでいる。

設立当初から遊技業界のみならず社会の共有財産として貢献できる活動を目指して活動法となつた。ぱちんこ依存問題相談機関としては、「依存問題に取り組むに

は、ホール組合の全日本遊連だけでなく、機器の開発や製造などを行う他の団体にも活動趣旨への理解と連携をお願いしていく必要を感じている。これまで、現場におけるサービスの基礎作り

で一杯だったが法人化を機に広く理解と協力を得られるよう地道にアピールに取り組んでいこうと思う（さくら通信31号）」としている。